
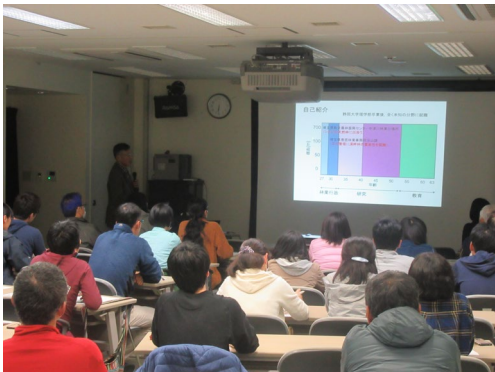


事業報告

事業名	令和元年度第5回屋久島研究講座	事業体系	環境学習事業
期 日	令和2年2月13日（木）18：30～20：00		
場 所	屋久島環境文化村センター		
対象者	屋久島町民（高校生以上対象）	参加者数	60名（内カ`イト`登録受講証明書発行44名）
<p>（概 要）</p> <p>演 題 水辺の樹木の生活史</p> <p>講 師 崎尾 均（新潟大学佐渡自然共生科学センター所長）</p> <p>講演要旨</p> <p>河川や溪流周辺に分布する水辺林の樹木は、その生活史を通して自然攪乱や河川環境と密接な関係を持って生存している。河川上流域の溪畔林には、サワグルミ、トチノキ、カツラ、中下流域の河畔林にはヤナギ類が、湿地にはハンノキやヤチダモが分布している。また、外来種のハリエンジュは河川を通してその分布を広げている。今回はこのような水辺の樹木の生き様を紹介してみたい。</p> <p style="text-align: center;">※ 屋久島町エコツーリズム推進協議会登録ガイド更新条件の対象となっています。</p>			
<p>（講演時の様子）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <p>崎尾氏は今年度から3年間にわたり屋久島において水辺の樹木のサツキについて調査を行うことから、地元ガイドなどに調査の協力をされ、ガイドさんたちもガイドのネットワークを利用し、協力することとなった。</p>			
資料等			